

大磯の豊かな森の活用と保全に向けて

「自伐型林業フォーラム&実務研修を実施します」

【町の山林の現状】

大磯町は、町の面積の約3分の1に当たる約500haが山林で、その内の約1割が針葉樹（スギやヒノキ）の人工林、残りの9割が広葉樹林等となっています。

かつては薪や炭焼きなどのために山林が活用されていましたが、化石燃料が普及すると、山林はほとんど活用されなくなりました。その結果、現在では、大きく成長した立木が農地の日照を阻害したり、倒木被害の発生、山に人が入らなくなったことにより、イノシシ等の野生動物の棲みかが拡大するなど、山林が農業や生活に支障をきたす存在になってしまっています。

【自伐型林業への着目】

このような山林が抱える問題の解決に向け、町では「自伐型林業」※という林業の方式に着目し、昨年度、山林の持続的な活用と環境保全の方策を検討する調査を実施しました（自伐型林業実現可能性調査）。

専門家による町内山林の踏査や関係団体等へのヒアリングの結果、特に町内の広葉樹林は資源量が豊富であり、自伐型林業によって持続的に活用できる可能性がうかがえました。具体的には、広葉樹の施業によって薪の生産を中心としつつ、木材を使った様々な商品化を検討して副業につなげる、兼業型林業のスタイルが想定されます。

【今後に向けて】

調査によって町内山林の活用の可能性がうかがえましたが、これまで町全体として林業や山林活用の経験が乏しいことから、当然、課題も多く存在します。

新しく林業を始める担い手の確保や、担い手が山林を確保するための山林所有者とのマッチング、生産した薪や木材を使った商品の販路の開拓などが考えられます。

こうした課題を一つひとつ解決していくため、今年度、町では次の2つの取組みを行います。1つは、町の今後の山林活動を考えるフォーラムです。この中で、昨年度実施した調査結果の報告も行います。もう1つは、担い手育成のための実務研修です。皆さん、ぜひ、ご参加ください。

※自伐型林業とは

低コストで参加が容易な施業方法により、地域住民や山林所有者の自営によって地域の山林や所有山林を活用し、副業以上の仕事としていく林業のことをいいます。大規模で集約化された雇用労働力をもつ事業者や組合などが、山林所有者からの作業委託により行う従来の方式とは異なる林業で、近年の林業衰退を克服する手法の一つとされています。

【参加者募集】

■自伐型林業フォーラム

▼とき 8月25日（日）15時～18時

▼ところ 町保健センター2階 研修室

▼内容

- ①基調講演「地方創生のカギ 自伐型林業」
- ②自伐型林業実現可能性調査の報告
- ③パネルディスカッション

※どなたでも参加できます。（参加費無料・事前申込み不要）

■自伐型林業実務研修

▼とき・内容

- ①10月5日（土）、6日（日）チェーンソー取扱研修
- ②10月19日（土）、20日（日）選木・伐倒・造材研修
- ③11月2日（土）、3日（日・祝）伐倒・造材・搬出研修（広葉樹伐倒・造材含む）
- ④11月16日（土）、17日（日）作業道開設・森づくり・経営

研修



▼対象 全日程を受講可能な方で、林業に取り組みたい方や山林整備を進めたい山林所有者（林業初心者歓迎）

▼費用 各回保険料1,000円、①はテキスト代2,000円

▼定員 15名（申込者多数の場合は、町内在住者を優先させていただきます。受講目的を考慮して選考します）

▼申込み 8月1日（木）から9月2日（月）までに、所定の申込用紙をメールまたはFAX、郵送（必着）

※申込用紙は町ホームページからダウンロードできるほか、産業観光課（本庁舎3階）窓口にあります。

産業観光課

☎内線262